

副産物情勢

平成30年4月4日

更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項目	内容	備考																									
1.内臓	①国産牛	<p>○平成30年2月成牛と畜頭数は、77.6千頭(前年比100.4%)と前年をわずかに上回った。 内訳を見ると、和牛31.5千頭(前年比100.5%)、交雑牛18.7千頭(同106.7%)、乳牛去勢14.3千頭(同94.1%)であった。 ○平成30年3月の成牛と畜頭数は、速報値(3/30まで集計)で81.2千頭(前年比98.4%)と減少している。 ○(独)農畜産業振興機構が3月26日に公表した牛肉の需給予測によると、4月は1日当たりの出荷頭数は前年を上回るものの、と畜場稼働日数が前年をわずかに下回ると見込まれることから、出荷頭数および生産量ともに前年をわずかに下回ると予測する。 品種別の4月出荷予測については、和牛は前年を下回り、交雑種は前年並みと見込まれる。乳用種は引き続き減少傾向で推移すると見込む。 ○需要動向については、赤モノはモノにより依然不足気味であるが、レバー・ハツの動きが鈍ってきた。センマイの動きも落ち着く。 シロモノは小腸・シマチョウともに動き悪い。 テール・ホホ肉の引き合い落ち込む。</p>	<p>1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年5月26日</td> <td>34/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月6日</td> <td>30/枝kg</td> <td>8/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年11月19日</td> <td>30/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年6月9日</td> <td>30/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成28年6月6日</td> <td>40/枝kg</td> <td>9/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>*豚正貫物</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg	平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg	平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg	平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg	平成28年6月6日	40/枝kg	9/枝kg			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
	平成23年5月26日	34/枝kg	8/枝kg																								
平成24年7月6日	30/枝kg	8/枝kg																									
平成24年11月19日	30/枝kg	7/枝kg																									
平成26年6月9日	30/枝kg	9/枝kg																									
平成26年11月10日	35/枝kg	9/枝kg																									
平成28年6月6日	40/枝kg	9/枝kg																									
②国産豚	<p>○平成30年2月度全国の肉豚出荷頭数は1,300千頭(農林水産統計3/30公表 前年比99.5%)となった。農水省2月2日発表の月出荷予測では、1,310千頭(前年比100%)と予測されており、予測も前年も若干下回る結果となった。 ○平成30年3月の全国と畜頭数は、速報値で1,392千頭(3/31まで集計)、前年同比96.5%となっている。稼働日数では昨年より1日少ない21日となり、1日当たりの平均と畜頭数は速報値段階で66,305頭となっている。 農水省食肉鶏卵課平成30年3月30日付 肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は平成30年4月1,347千頭(前年同月比102%)、5月1,357千頭(100%)、6月1,298千頭(99%)、7月1,260千頭(102%)、8月1,316千頭(100%)、9月1,281千頭(98%)となっている。 ○需要動向について、引き続きアカモノは全体的に堅調である。タン・ハラミは相変わらず好調である。レバーも安値ではあるが堅調である。 シロモノは、小腸・大腸の需要期は終わって動きが落ちてきたが、在庫余剰感はない。 ハツ・ガツともコンビニ・量販手需要で堅調である。豚足は非常に引き合いが強い。</p>	<p>2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年3月10日</td> <td>50/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成20年5月1日</td> <td>50/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成23年6月20日</td> <td>40/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成24年7月13日</td> <td>30/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成26年11月10日</td> <td>35/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>平成28年5月30日</td> <td>40/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>*H23.4.1から枝重500kg以上が510kg未満に改定</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg	平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg	平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg	平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg	平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg	平成28年5月30日	40/枝kg	5/枝kg				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																									
平成20年3月10日	50/枝kg	3/枝kg																									
平成20年5月1日	50/枝kg	5/枝kg																									
平成23年6月20日	40/枝kg	5/枝kg																									
平成24年7月13日	30/枝kg	5/枝kg																									
平成26年11月10日	35/枝kg	5/枝kg																									
平成28年5月30日	40/枝kg	5/枝kg																									
③輸入牛	<p>○平成30年2月の輸入通関実績によると牛肉輸入量は全体で37.2千ト(前年比91.6%、前月比104.4%)であった。 内訳は、チルドが19.9千ト(前年比117.8%、前月比107.5%)、フローズンは17.3千ト(同72.9%、同101.0%)であった。 チルドビーフは前年を20%近く上回る。国別には豪州8,753ト(前年比123.1%)、米国10,331ト(同113.9%)となった。 ○(独)農畜産業振興機構が3月26日に公表した牛肉の需給予測によると、今後のチルドビーフ輸入量について、現地価格高により主に米国産の輸入量の減少が見込まれることから、3~4月の各月で前年を下回る2万1~3千ト台で推移すると予測する。 ○平成30年2月の冷凍輸入牛レバーは99.9ト(前年比137.0%・前月比242.0%)であった。国別では米国61.2t、豪州32.7t、墨国6.0tであった。 冷凍輸入牛腸は1,143.5ト(前年比93.2%・前月比65.6%)となった。</p>	<p>3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年7月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>110/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月1日</td> <td>1,000/枚</td> <td>140/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月3日</td> <td>1,000/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,000/枚</td> <td>200/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>170/枚</td> </tr> <tr> <td>平成28年4月1日</td> <td>2,000/枚</td> <td>150/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td>1,500/枚</td> <td>180/枚</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成23年7月1日	1,000/枚	110/枚	平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚	平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚	平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚	平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚	平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚	平成29年1月23日/16日	1,500/枚	180/枚	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																									
平成23年7月1日	1,000/枚	110/枚																									
平成25年2月1日	1,000/枚	140/枚																									
平成25年6月3日	1,000/枚	160/枚																									
平成26年1月6日	2,000/枚	200/枚																									
平成27年4月1日	2,000/枚	170/枚																									
平成28年4月1日	2,000/枚	150/枚																									
平成29年1月23日/16日	1,500/枚	180/枚																									
2.原皮	①牛原皮	<p>○平成30年2月の輸出実績は、26,711枚(前年比98.9%、前月比97.0%)で、前月・前年ともに下回った。輸出平均価格は4,739円/枚(前年比-490円、前月比-127円)とこちらも下回った。国別実績は、韓国7,900枚(前年比102.1%)、タイ13,931枚(同113.9%)、香港4,880枚(同69.2%)、ベトナム・インド・台湾は実績なし。一方、ウェットブルーの輸入は、76.7千枚(前年比118.9%、前月比143.5%)、牛大判皮は28.1千枚(前年比91.5%、前月比96.0%)となった。 ○輸出動向は数量について、当月は春節で例年数量が落ち込む時期であるが、前年より下回り、価格も下げとなった。 ○米国等の牛生産頭数が増加し、それに合わせ原皮枚数も増加している。牛原皮の国際価格を押し下げている要因となっている。 国内では靴の需要が大幅に減少しており、それにあわせて輸出量が増加傾向である。</p>	<p>4.大阪市場原皮価格 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和ヌキ)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成23年2月21日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>平成23年7月11日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>70/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年2月8日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>100/枚</td> </tr> <tr> <td>平成25年6月10日</td> <td>1,300円/枚</td> <td>120/枚</td> </tr> <tr> <td>平成26年1月6日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>160/枚</td> </tr> <tr> <td>平成27年4月13日</td> <td>2,300円/枚</td> <td>130/枚</td> </tr> <tr> <td>平成29年1月23日/16日</td> <td>1,800/枚</td> <td>140/枚</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	平成23年2月21日	1,300円/枚	30/枚	平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚	平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚	平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚	平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚	平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚	平成29年1月23日/16日	1,800/枚	140/枚
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																								
平成23年2月21日	1,300円/枚	30/枚																									
平成23年7月11日	1,300円/枚	70/枚																									
平成25年2月8日	1,300円/枚	100/枚																									
平成25年6月10日	1,300円/枚	120/枚																									
平成26年1月6日	2,300円/枚	160/枚																									
平成27年4月13日	2,300円/枚	130/枚																									
平成29年1月23日/16日	1,800/枚	140/枚																									
②豚原皮	<p>○平成30年2月の輸出合計は、958,932枚(前年比79.2%、前月比103.8%)と、前月は下回ったが前年は上回った。輸出価格は716円/枚で前年比-124円、前月比-49円であった。国別実績は、台湾179千枚(前年比84.3%)、タイ710千枚(同77.6%)、韓国35千枚(同214.8%)、ベトナム35千枚(前年比90.4%)、フィリピン・香港とも実績なしであった。 ○輸出動向については、現時点において輸出量は下げながらも踏ん張っているものの、価格が下がり傾向である。 国際的には、牛皮・羊皮価格とも下落傾向であり、海外には在庫も多く予断を許さない。</p>																										
3.レンジ	①油脂等	<p>○2月渡しの国内産食用加工油脂向け豚脂は前月保合、前年からは+2円上げの90円(前年比102.3%)となり、牛脂は逆に-3円下げの90円(同96.8%)となった。豚脂は外食を中心に「味の差別化」の追い風があるが、牛脂は、ファーストフード大手の店舗整理の影響やフライ需要の減少で下げとなった。マクドナルドの販売好調も牛脂の需要回復には至っていない。 ○2月マレーシア産パーム油相場は、在庫量の増加と輸出需要の伸び悩みで、91円と軟調であった。(前月比96.8%、前年比86.7%)。しかし、2月後半からの輸出好調と在庫量減により、3月以降は上げの予想。 ○2月の関東飼料用油脂は74円/kgと前月と同様で、前年比+4円となった。工業用油脂は前月・前年と同様の47円/kg。 ○2月のUCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格は、前月と同様の63円~66円/kg辺り。前年比2円高。</p>	<p>5.油脂価格(食用向け) 単位:円/kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年7月1日</td> <td>91</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成27年8月1日</td> <td>93</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>平成28年6月1日</td> <td>93</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>平成29年11月1日</td> <td>90</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	平成27年7月1日	91	93	平成27年8月1日	93	93	平成28年6月1日	93	88	平成29年11月1日	90	90									
価格改定年月日	牛脂	豚脂																									
平成27年7月1日	91	93																									
平成27年8月1日	93	93																									
平成28年6月1日	93	88																									
平成29年11月1日	90	90																									